

6 ロータリーの主な活動

例会

ロータリークラブの会員は、定期的に例会を開いて顔を合わせています。例会に出席することによって、異なる業種の人たち、さまざまな年代の人たちと親しくなることができます。クラブ例会では、一緒に食事をします。同じテーブルの会員と歓談し、最近話題になっていること、仕事のこと、その内容はさまざまです。また、例会では卓話と呼ばれる30分程度のスピーチを聞きます。クラブ会員が自分の職業や趣味、ロータリーについて話したり、ゲストを迎えて話題になっている話を聞いたりします。



会員卓話



会員の懇親を深めるための例会

地区大会

日本には34の地区があり、1つまたは複数の都道府県で1つの地区を構成しています。そして、地区内の会員が集まって、年に1回、地区大会が開催されます。



国際ロータリー第2550地区 栃木県の地区大会



表彰を受ける福田富一栃木県知事



地区大会の記念ゴルフ大会

国際大会

1年に1度、世界中からロータリアンが集まって、国際大会が開かれます。4日間の国際大会では、世界中のロータリークラブや会員の活動が紹介され、また、世界で起こっている問題や課題に関する講演を聴くことができます。



ロータリー国際大会



2016-17年度国際ロータリー会長 ジョン・F・ジャムス

ロータリー米山記念奨学会

日本最初のロータリークラブの創立に貢献した、実業家米山梅吉氏の功績を記念して、1957年9月に発足しました。ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給支援する民間の奨学団体です。毎年750名以上の方々に支援の奨学金を送っています。



静岡県長泉町 ロータリー米山梅吉記念館



米山奨学生研修旅行

ロータリー財団

国際ロータリーの公益財団法人ロータリー日本財団は、世界理解、親善、平和を目的とし、ロータリー平和フェロシップ等の奨学金を提供しています。またこの財団資金を利用して国際並びに地域社会に社会奉仕や国際奉仕に努めています。



ロータリー財団地区補助金を利用してカンボジアへ消防車を寄贈



財団の資金は、児童・障害・老人養護施設などの奉仕活動を支援

7 著名なロータリアン

松下幸之助 (松下電器社長=大阪RC)
千玄室 (裏千家茶道家元=京都RC)
服部禮次郎 (セイコー会長=東京銀座RC)
瀬戸内寂聴 (尼僧=徳島南RC)
御木本豊彦 (ミキモト社長=東京RC)
司葉子 (俳優=恵比寿RC)
宝田明 (俳優=東京池袋RC)
ウィンストン・チャーチル (元英国首相=ロンドンRC)
マーガレット・サッチャー (元英国首相=ウィントミンスターRC)
ジョン・F・ケネディ (元米国大統領=ハヤニスRC)
ジョージ・ウォーカー・ブッシュ (元米国大統領=ワシントンDC RC)
トーマス・エジソン (発明家=オレンジRC)

8 ロータリーに入ってよかった

1. 新しい出会い (異業種交流)

自分の職業では得られない多くのすばらしい出会いを提供。

2. 世界中で親友を得る

全世界120万人の品性高潔事業場の令名ある親友を得る。

3. 信用が高まる

ロータリアンであるがために得られる何ものにも代えがたい信用が得られる。

4. 地域社会や世界での奉仕活動の機会が得られる

自分一人では不可能なことも、ロータリー活動を通じて地域社会に、世界に奉仕する機会を得る。

5. ロータリーは人をつくる

毎週例会に出席することで、自分の人間性を高め、人格が高まる。

6. 多くの友を得ることができる

素晴らしいロータリアン同士の友情は心を癒し、親友、真の友、心の友を得ることができる。

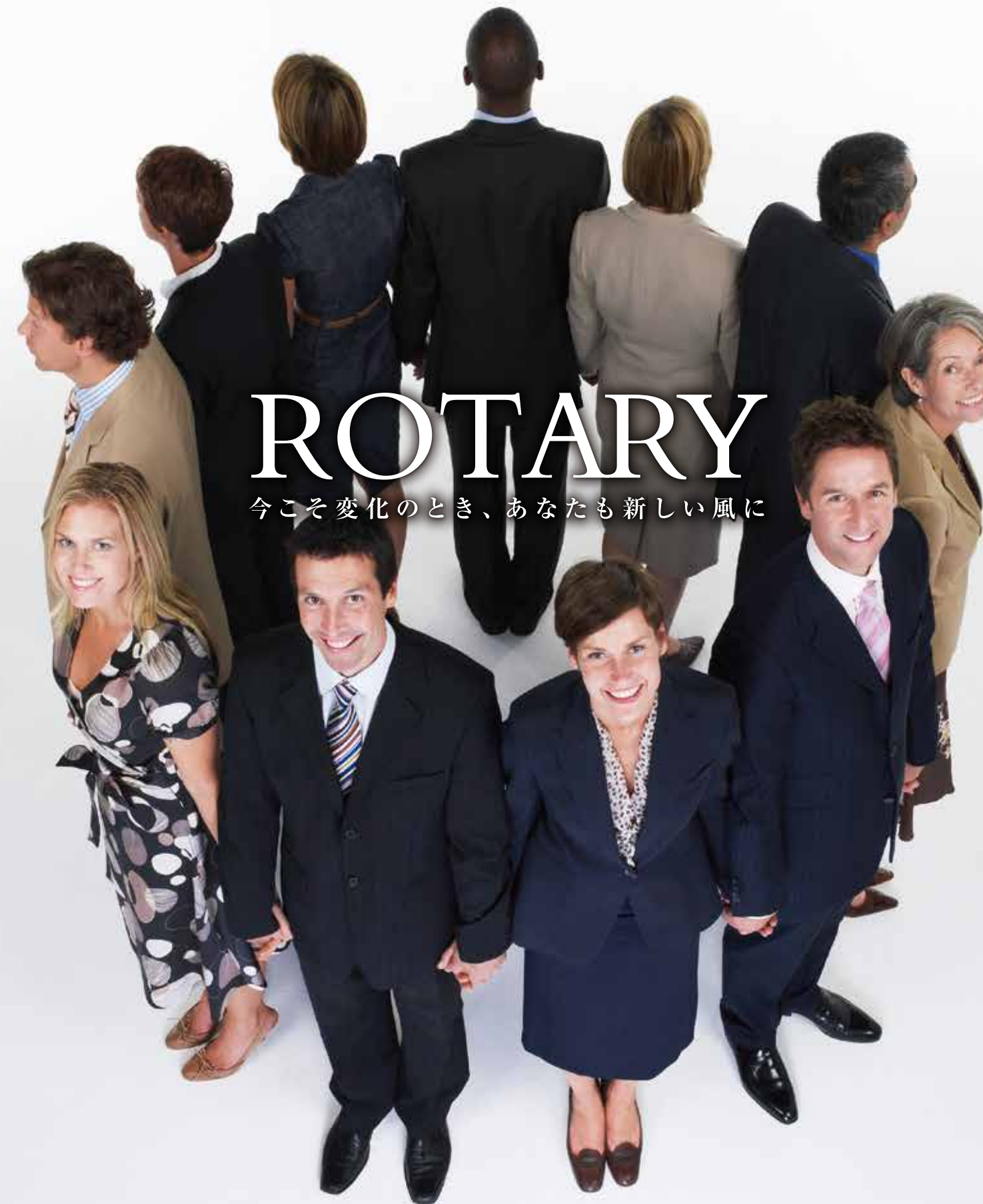
7. 自分を成長させる

多くの優れた指導者とのめぐりあいで、自分自身を成長させることができる。

(「ロータリーに入ってよかった」より抜粋 第2660地区 戸田孝著)



発行・編集：国際ロータリー第2550地区ロータリー情報委員会・会員組織委員会



ROTARY

今こそ変化のとき、あなたも新しい風に

企業の経営者と専門職の人々の
世界的ネットワーク
全世界で約120万人、
日本で約9万人の会員が
より良い明日のために活動しています



1 ローターとは

職業・国・文化が異なる120万人の会員から成るネットワーク、ロータリーは、草の根の活動とグローバルな取り組みを通じて変化を生み出しています。

3 ローターの目的とは

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することである。

- 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

5 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。



日本のロータリーの創始者 米山 梅吉氏

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、日本のロータリー創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟します。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあり、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものとなりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2,282、会員数は88,184人となっています。(2014年3月末現在)

2 ローターの奉仕理念とは

ロータリーの奉仕理念とは他への思いやりの心、助け合いの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心です。

寛容・慈愛・忍耐

(創始者 ポール・ハリスの信条)



ロータリーの創始者 ポール・ハリス氏 (1869~1947)

4 ローターの歴史

ロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリス。シカゴで弁護士として働いていたハリスがロータリークラブ(シカゴ・ロータリークラブ)を設立したのは、1905年2月23日。さまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくるのが、ハリスの夢でした。

以来110年以上にわたり、ロータリーの会員は世界が抱える数々の問題に取り組んできました。今やロータリークラブは、120万人の会員ネットワークを生かして世界レベルの取り組みも行っています。

「ロータリー」という名は、当時、各メンバーの職場を順番にミーティング場所として使っていたことに由来します。



最初の会合に集まった4人、左から2人目がポール・ハリス。

< 四つのテスト >

- 1 真実かどうか
顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか?
- 2 みんなに公平か
従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか?
- 3 好意と友情を深めるか
業界において公正かつ誠実で、同業者とともに手を携へ、職業倫理の高揚に努めているか?
- 4 みんなのためになるかどうか
納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか?

言行はこれに照らしてからおこなうべし

クラブ奉仕

ー クラブの親睦事業とロータリーの機能を充実するための活動 ー
ロータリーの会員は定期的に例会を開いて顔を合わせます。例会に出席することによって、異なる業種の人たちと親しくなることができます。例会では一緒に食事をしながら、卓話と呼ばれる30分程度のスピーチを聞きます。そこでは、最近話題になっている話を聞いたり、社会・経済情勢、技術、健康、趣味など多岐にわたり一緒に活動いたします。



【左上】クラブ毎に定められた日時、場所で会合を開くことを例会と呼びます。会員がお互いに胸襟を開いて親交を深め、奉仕を語り合う場所でもあります。

【右上】決められた例会場以外に、移動例会など職種の違う職場で例会を開催することもあります。(地域寺院においての例会)

【左下】各クラブの趣味やサークル等の活動の中で、野球クラブの対抗野球大会なども開催しております。

職業奉仕

ー 職業上において道徳的規範を基本理念として活動 ー
「職業奉仕」という言葉は耳慣れないと思いますが、会員たちが一番大切にしていること、それが職業奉仕です。ロータリー会員は、高い見識と業績を積み上げてきた人ばかりです。自らの人格と職業倫理の向上に努め、互いに専門知識を通して地域社会や国際社会に貢献できる互恵関係を見つけ出します。



【左上】各界で活躍している会員が母校に向き、職業についての話しや人生のあり方に役立てようと進路指導講演会を開催しました。

【左下】職場訪問。宇都宮市鶴田町の日本中央競馬会(JRA)を訪ねました。

【右上】宇都宮東消防署へ職場訪問を行い、はしご車への体験乗車。色々な専門的な職業体験でした。

社会奉仕

ー 地域社会への社会奉仕プロジェクトに取組み活動 ー
ロータリークラブは所在する地域社会への福祉施設、その他の団体への寄付や金銭的な支援もして会員が「汗を流す」活動を大切にしています。その中で、職業の専門性を生かしたイベントの協賛や無料相談会やスポーツ大会を主催するなど、枚挙にいとまがないほど多岐にわたって活動しています。



【左上】大勢の市民ボランティアの方々と清掃活動を行い、絶滅の危機の保護やホタル幼虫の放流などの活動を毎年支援しています。

【右上】宇都宮市清原工業団地中央公園前メインストリートに、ソメイヨシノ60本、トチノキ60本を植樹。20年以上を経て見事な並木道となっています。

【左下】「田川いきいきフェスティバル」を開催。田川緑地帯に花木の植樹や小冊子「田川いきいき再発見」を約3000部発行、近隣小学校へ寄贈しました。小学生によるフナ1万匹の放流や、田川の橋巡りスタンプラリーに多くの市民の方が参加してくれました。

あなたも「新しい風」に参加しませんか？

ロータリークラブは5大奉仕の委員会で活動しています。

国際奉仕

ー クラブの親睦事業とロータリーの機能を充実するための活動 ー

ロータリークラブは、単独またはほかのクラブと協力して、海外の人たちにも手を差し伸べています。「ポリオ撲滅」、かつて小児まひと呼ばれ日本でも子どもたちが犠牲になりました。国際ロータリーは30年にもわたり取り組んでいます。これまでに12億(1300億円)ドル以上の貢献をしています。「水と衛生」や「識字率向上」などといった活動にも取り組んでいます。



カンボジアの小学校に校舎を寄贈しました。落成にはクラブメンバーも参加してお祝いをしました。



フィリピン サンフェルナンド市ラハール地区にて、医療を受けられない恵まれない人々を対象にした無料医療奉仕活動です。



毎年開催される国際ロータリー大会(写真:ロサンゼルス大会)。日本のロータリアンも大勢参加いたします。

青少年奉仕

ー あらゆる新世代のニーズに取組みながら活動 ー

年齢30歳までの青少年を含む新世代の多様な能力を高める多種類のプロジェクトに取り組んでいます。教育分野では「青少年交換」や自己開発分野では「インターアクトクラブ・ローターアクトクラブ・ロータリー青少年指導者養成(RYLA)」など多くのプロジェクトに取り組んで活躍しています。



【左】ロータリーのプログラムで運営される交換学生たち。今までに多数の若者を世界中に送り出し、諸外国からも多くの若者を受け入れています。

【中央】年齢14~30歳の若者が集まり、青少年指導者養成プログラム(RYLA)でリーダーシップスキルと人格を養い、ロータリーについて学ぶ研修プログラムです。

【右】近隣の剣道大会やサッカー大会など、スポーツ活動等の支援もしています。

ロータリーを楽しむことができます。

同好会をもっているクラブもたくさんあります。あなたの趣味は何ですか?ロータリアンになってクラブの同好会や世界の親睦活動グループに参加すると、さらに興味が広がります。